

■コメント

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.14人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染や接触感染で、2~5日の潜伏期を経て、突然の発熱、のどの痛み、毎舌などの症状が現れます。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

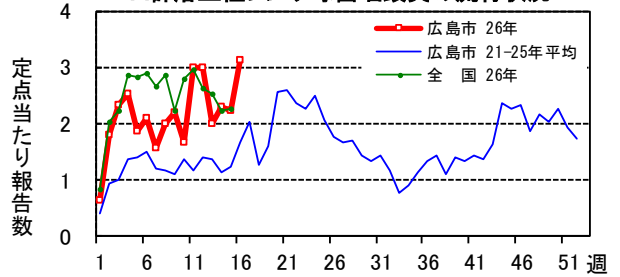
2 ヘルパンギーナ

定点当たり0.62人と、例年同時期と比べて多くなっています。いわゆる「夏かせ」の一種で、発熱とともに、喉に痛みと水疱が現れます。感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染で、回復後も2~4週間程度、便中にウイルスが排泄されます。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

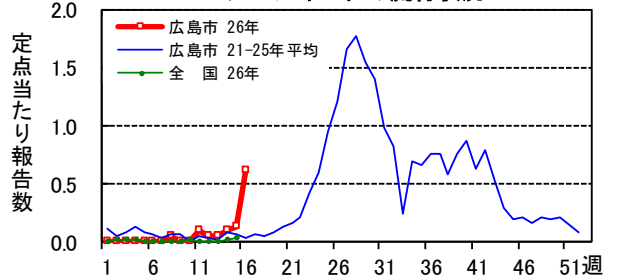
3 腸管出血性大腸菌感染症

2件の報告があり、今年の累計は22件となりました。感染予防のため、加熱が必要な食品は十分に加熱し、生野菜は十分に洗いましょ。また、調理の前、食事の前、トイレの後などは、せっけん流水で手を洗いましょ。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の流行状況



ヘルパンギーナの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
ARI	急性呼吸器感染症(ARI)	1781	52.38		◇	小児科	突発性発しん	3	0.14	0.37	
	インフルエンザ	14	0.41	1.69	▽		ヘルパンギーナ	13	0.62	0.04	
	新型コロナウイルス(COVID-19)	11	0.32				流行性耳下腺炎	-	-	0.01	
小児科	RSウイルス感染症	7	0.33	0.76		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	4	0.19	0.40			流行性角結膜炎	4	0.50	0.88	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	66	3.14	1.65	◇	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	116	5.52	7.97	◇		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	7	0.33	0.10			マイコプラズマ肺炎	2	0.33	0.17	
	手足口病	2	0.10	0.42			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.05	0.17			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.26	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

急性呼吸器感染症(ARI)定点数(内科・小児科)	34
小児科定点数	21
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	42	30歳代、70歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	22	60歳代・O103、70歳代・O血清群不明
4	レジオネラ症	1	5	80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	90歳代
5	梅毒	3	28	20歳代、40歳代、50歳代
5	播種性クリプトコックス症	1	1	90歳代

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	報告週	急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	新型コロナウイルス (COVID-19)	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
広島市	第12週	1,744	338	13	1	2	63	172	6	-	2	5	1	1	-	6	-	-	3	-	-	-
	第13週	1,618	185	12	6	5	42	144	7	1	-	4	1	1	-	1	-	-	3	-	-	-
	第14週	1,470	63	11	5	5	46	76	5	-	1	5	2	-	1	6	-	-	-	-	-	-
	第15週	1,578	28	13	10	3	47	108	9	1	1	7	3	-	-	8	-	-	1	-	-	-
	第16週	1,781	14	11	7	4	66	116	7	2	1	3	13	-	-	4	-	-	2	-	-	-
定点当たり	第12週	51.29	9.94	0.38	0.05	0.10	3.00	8.19	0.29	-	0.10	0.24	0.05	0.05	-	0.75	-	-	0.50	-	-	-
	第13週	47.59	5.44	0.35	0.29	0.24	2.00	6.86	0.33	0.05	-	0.19	0.05	0.05	-	0.13	-	-	0.50	-	-	-
	第14週	44.55	1.91	0.33	0.25	0.25	2.30	3.80	0.25	-	0.05	0.25	0.10	-	0.13	0.75	-	-	-	-	-	-
	第15週	46.41	0.82	0.38	0.48	0.14	2.24	5.14	0.43	0.05	0.05	0.33	0.14	-	-	1.00	-	-	0.17	-	-	-
	第16週	52.38	0.41	0.32	0.33	0.19	3.14	5.52	0.33	0.10	0.05	0.14	0.62	-	-	0.50	-	-	0.33	-	-	-
全国	第14週	43.42	3.21	0.77	0.47	0.21	2.23	4.62	0.33	0.08	0.07	0.22	0.02	0.02	0.01	0.33	0.01	0.03	0.10	0.01	0.06	0.06
	第15週	43.47	1.46	0.63	0.53	0.23	2.28	4.61	0.33	0.11	0.08	0.25	0.03	0.02	-	0.40	0.02	0.02	0.16	0.01	0.07	0.07

■ 病原体検出状況(ARIサーベイランス)

感染症発生動向調査に基づくARI病原体定点医療機関からの搬入分のみ掲載

検体採取週	検査検体数	陽性検体数*	インフルエンザウイルス A H3N2	インフルエンザウイルス A H3	B型インフルエンザウイルス (山形系統)	B型インフルエンザウイルス (ヒクトリア系統)	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	A型RSウイルス	B型RSウイルス	ヒトメタニューモ ウイルス	パライノフルエンザ ウイルス1型	パライノフルエンザ ウイルス2型	パライノフルエンザ ウイルス3型	パライノフルエンザ ウイルス4型	ライノウイルス	エンテロウイルス	アデノウイルス
第11週	13	10		4						3					3		
第12週	15	11		4						1	1				5		1
第13週	12	7		3				1							4	2	1
第14週	13	10		1		2	1	1		3					3		
第15週	14	9							1	1					7	1	2

* 同一検体からの複数ウイルス検出例を含む(検査: 広島市衛生研究所)

詳しくはホームページで

広島市 病原体

検索

【参考】海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！

ゴールデンウィークを利用した海外渡航などにより、国内外の人の移動が活発になります。

海外では、日本で感染しないような感染症にかかることがあります。

安全で快適に旅行し、帰国できるよう、感染症予防を心がけてください。

◆ 海外での感染症予防のポイント

渡航先で流行している感染症の情報を事前に入手し、注意すべき事柄を確認しましょう。



海外へ渡航される皆さまへ！(厚生労働省検疫所)
https://www.forth.go.jp/news/20220722_00001.html

特に現在、世界各地において麻しんが流行しています。海外渡航される場合には、予防接種歴を確認し、定期接種を受けた記録がない場合には、あらかじめ予防接種を受けることを検討してください。

また、海外には動物や虫などを介した感染症が流行している地域があるため、野良犬や野生動物との接触を避ける、虫よけスプレーを使用する等気をつけるとともに、消化器系の感染症予防のため、火の通っていない食べ物や生水、氷は避けた方が無難です。



【詳しくはこちらをご覧ください】
 海外に行く場合は、感染症予防も忘れずに！(広島市)
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/medical/1021213/1027974/1022982.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/living/eisei/1003071/index.html>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp